

山行報告書

山行管理部

公開山行「京都音羽山(593m)、高塚山(485m)」10月24日

CL 北 SL 松本正 猪瀬 松本光 参加 17 名

大谷駅(滋賀県)9:00 発～音羽山 10:30 着～牛尾観音 11:30 着
(昼食 30 分)～高塚山 13:00 着～醍醐寺 14:30 着



久しぶりの公開山行にドキドキ。登山口で集まり、新会員の参加もあり、ウキウキ。グループを AB の 2 つに分け、出発。はじめから、いきなり急坂に。公開山行部長率いる久々山行組の C 班を増班することにした。まだまだ続く急坂に階段。山頂近くは、なだらかな道に。山頂に到着して、見えた景色は、さっきの急坂を忘れさせてくれる琵琶湖の眺め。牛尾観音で、昼食をとり、出発。少し歩くと、大きな赤鬼(像)と青鬼(像)が、私たちを迎えてくれ、危うく道を間違えそうに。桜の馬場に到着。幅の狭い橋を慎重に渡り、川沿いを歩く。アッ



プダウンの繰り返しだが、木立の中を歩くのが快い。AB 班と C 班との間が空いてきた。でも、C 班から笑い声が聞こえる。「大丈夫だ。」と思った。高塚山からは、京都の町の眺め。ここでも貸し切り展望台。迷いやすい道が続く。C 班の到着が遅れたが、無事醍醐寺に到着。みなさまの協力のもと、予定より早く醍醐寺に着くことが出来た。全員最後まで山行できて、よかった。いいお天気にも恵まれ、楽しい山行だった。ありがとうございました。(北 記)

サロン 山科植物資料館と醍醐寺 11月5日 L 島田 参加 11 名

山科駅 9:50 → 山科植物資料館 10:00 → 醍醐寺 13:10 → 山科駅 15:00

資料館では、館長より珍しい植物や薬草の説明を聞きながら案内して頂き初めて見る植物に皆さん興味津々でした。

午後からの醍醐寺では、観光客もほとんどなく紅葉した庭園をのんびり散策しました。(島田 記)

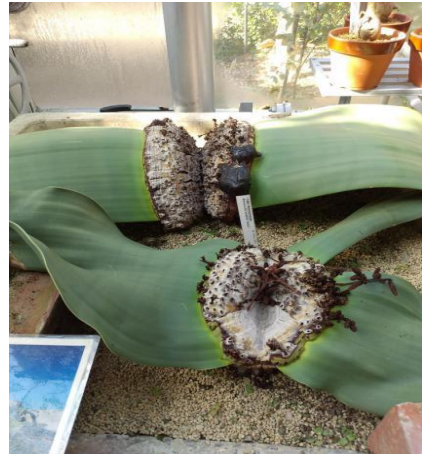
参加者の皆さんに、資料館でのひとくちメモを書いて頂きました。

- ・薬草の多さに驚き又、その効能を発見した人々の知力にも驚きました。
- ・薬草の種類が、こんなに沢山あるとは知らなかった。
- ・日頃見慣れている植物、草花が結構薬用に使われていることを知り驚くこれだけの種類を集めている植物園は少ないのではないかな。

- ・植物と漢方、昔の人はすごかった。
- ・ヨモギ、ネコのヒゲなどゆっくり説明して頂きました。
- ・薬草の植物を見たのは初めて、館長の説明が良かった。
- ・キソウテンガイを見れて良かった。
- ・沢山の薬草にびっくり、よく説明頂きアットという間の時間でした。
- ・身近な植物の薬効など、説明頂き参考になった。
- ・植物の話がとても楽しかった。



醍醐寺



キソウテンガイ

土曜山行 リトル比良 2021年11月13日 晴れ

C L湯浅、S L入江、南、滝川 参加13名

活動データ タイム 7:00 距離 11.3km 高低差 1,078m

北小松駅9:10 (第2グループ9:20 以降第2グループのタイム) →10:30 涼峠→寒風峠 11:00→滝山 12:05 (昼食) →13:00 岩阿沙利山→14:00 鳥越峰 出合→15:00 岳山→15:30 白坂→16:30 大炊神社→16:50 近江高島駅 (解散)

下見の時は、強い北風のため稜線ではとても寒く、ウインドブレーカー必須でしたが、実施日は、終始青空で暖かく、爽やかな山行でした。秋も深まり、木漏れ日の逆光で紅葉や黄葉が色鮮やかな自然林が所々にあり、コロナ感染も忘れてしまいそうでした。二つのグループは密を避けるため約5-10分の間隔を空けましたが、休息ポイントではお互いに確認でき、いい距離間隔でした。

コースは、楊梅の滝を見ながらの登り、涼峠からは沢沿いに岩が現れる渡渉、自然林の滝山では琵琶湖を眺めながらの昼食、それ以降の岩阿沙利山から岳山まで続くアップダウン、仏岩や白坂からの里山や琵琶湖の展望など変化に富み、楽しめませんが、ややしんどく、一部90度の曲がりが続く迷いやすい所がありました。

11月に入り日没時間が早くなってきたので、コース戦略は、第1グループが山と高原地図ペースで全体を引いて行き、第2グループは陽の傾きを気に掛けながら追隨することにしました。参加者13名でしたが、下見時の4人と殆ど同じペースで走破しました。きたろうメンバーの脚の強さを再認識した山行でした。

(湯浅 記)



ターブル山行 みたらい溪谷 11月21日

CL 山口 SL 平田 参加 17名

天川川合一吊橋—みたらい遊歩道 11:10—御手洗休憩所 (昼食)

11:35~12:10—みたらい滝—観音峰登山口 13:00—洞川温泉バス停 14:00 解散

急な登りや下りがないことと紅葉を楽しむための山行であったため班分けをせず実施しました。天気予報は曇りでしたが、陽ざしがある所では暖かく日陰や林の中では少し肌寒い天候でした。紅葉は少し時期が遅かったため、あまり残っておらず、もう少し早い時期に実施すべきであったと感じました。



みたらい溪谷は、天川と山上川に沿った溪谷で、特に「みたらい滝」の付近は滝や大きな岩があり、溪流は川底の小石が見えるぐらい水が澄み切っているので新緑の時期や夏にも楽しめるコースであると思いました。

(平田 記)

ウィークデイ 奈良音羽山（852m）～談山神社 11月24日

CL 高村 SL 北 参加者 13 名

桜井駅南口 8:12 発バス＝下居バス停～音羽観音（善法寺）9:50 着～万葉展望台～音羽山頂 11:00 着（昼食 30 分）～溪谷～音羽観音（善法寺）12:20 着～下居～談山神社 14:20 着（徒歩）14:28 発バス＝桜井駅



いいお天気だったが、急に冬の訪れを感じた 1 日だった。

下居バス停から音羽観音までの道は、コンクリートの急坂。時々かわいい絵が描かれた音羽観音への案内板があり、心が和む。音羽観音に着くと、色とりどりの木々と BS テレビ「尼寺日記」の住職さんが、出迎えて下さった。音羽観音から急坂の山道を上ると万葉展望台に着いた。金剛山・大和葛城山・二上山がくっきり見え、眺め抜群！さあ山頂まで頑張ろう。林道を上って行く。冷たい風が吹き、植林のてっぺんが大きく揺れている。「凄い！」と思ったが、そんなことを言っている場合ではない。体がどんどん冷え、手がかじかんでいた。山頂で急いで昼食。帰りは、道が分かりにくい溪谷を下りた。トップのリーダーが迷わず歩き、予定より早く音羽観音に着いた。下居まで下り、バスの時刻まで時間があつたので、談山神社まで歩くことにした。談山神社に着いたが、紅葉は終わっていると参拝者に聞き、着いてすぐに帰りのバスに乗り込んだ。

談山神社の紅葉は見るができなかったが、みんなで和気あいあいと楽しい登山ができた。みなさん、ご協力ありがとうございました。

（北 記）

有志山行 野山不動坂参詣道 10月24日 CL 児玉 SF 早川 参加 9 名

距離 9.1 Km 標高 880 m

南海高野線高野下駅 9:50～体操・トイレ～苺萱堂跡 10:50～白藤の里

（旧白藤小学校）神谷・昼食・トイレ 11:50～12:30～極楽橋駅 12:55～

不動坂分岐 13:05～清不動 14:00～女人堂 14:30～高野山駅 15:00 解散

苺萱堂迄の旧参詣道は舗装道であったがやがて参詣道に似つかわしくない荒れ道になり、やがて完全にハイキング道になってしまった。昔の人たちもこんな道を歩き高野山へお参りしたかと想像すると嬉しくもあり、信心の強さを感じます。

旧白藤小学校で学文路道と合流しますが神谷はその昔参詣客で賑わったそうです

が、ひっそり旅館の跡も、侘しく町並みは昔の栄華を醸しています。高野下コースの方が山道参詣道です。

極楽橋駅へと下り不動坂のイロハ坂を登ります。イロハ坂は弘法大師の“いろはにほへと”に因んで付けられたと案内板に書かれていました。

5%ぐらいの紅葉はまだまだ時間がかかりそうですが、このコースはものすごく静かです。老樹に覆われた世界です。安全第一、楽しい山歩きに心がけました。

(松本良美 記)

有志山行 大山 10月25日 C.L木村(佐) S.L森野 参加 4名

10/25 (月) 天気曇り 小雨 山頂はガス 要した時間 約7時間30分

夏山登山口 7:30 — 六合目避難小屋 9:40 — 山頂 11:00 出発 11:50 — 六合目避難小屋 13:00 — 行者谷別れ 13:30 — 行者登山口 14:50

10月20日に初冠雪がありアイゼン持参は宿のご主人に聞く。当日は「ここ数日寒波も来てないので要らないのでは」の助言に登山には持って行くのをやめる。実際雪は山頂付近の窪みにまだらに残っていた。

六合目避難小屋まではずっと木の階段が続き少々うんざりするが、振り返ってみると美保湾が見え素晴らしかった。紅葉は期待したほどではなかった。

下山は推奨コースの行者登山道を通る。元谷の河原までは木段の急な下りだったがブナ林は綺麗だった。

「一木一石運動」(山頂の植生回復に向け木や石を運ぶ)にも協力、又、500円の協力金もカンパする。

(木村 佐知子 記)

有志山行 箕作山・太郎坊宮 (372m) 11月7日 初級上 参加 9名

コース 市辺駅 9:56⇒阿賀神社 10:10⇒岩戸山登山口 11:00⇒十三佛大岩

山山頂 12:00 昼食⇒小脇山 12:40⇒箕作山 13:10⇒赤神山 (太郎坊山) 山頂

13:45⇒太郎坊宮 14:16~14:33⇒太郎坊宮前駅 14:50(解散)



快晴に恵まれ紅葉の少し手前の秋を満喫しました。
写真が赤神山山頂です岩だらけの信仰の山です。てっぺんから一気の下りです。
そして嫌になるほど階段を下ります。弘法大師 88 か所もお参りできます。久し振りの方もおられますが皆さん元気に歩きました。このコースをお正月（1/3）の初もうでとして有志山行しますのでご参加ください。枯れ葉が絨毯みたいに、とても良い山道になっていることでしょう。 (児玉 記)